

6月
June



シャクヤク

花言葉

恥じらい／謙遜

シルクのような輝きがこぼれ咲く
麗しのオリエンタルビューティー

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 購入の際は、つぼみがほころんだ花色が見えるものを選びましょう。
- つぼみの表面に蜜がついている場合は、湿らせた柔らかい布巾で優しく拭きとりましょう。
- 葉が多いと水が下がりやすいので、飾る際には適度に取り除きます。
- 切り花栄養剤を使用するとつぼみが開花しやすくなり、咲いてからも長く楽しめます。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ① 器に半分程度水を入れ、切り花栄養剤を適量加えます。それぞれの花材の水に浸かる部分の下葉を取り除きます。
- ② シャクヤクを2〜3本、器の高さよりやや長めにカットし、器の縁を利用して花が手前にあふれるようにあしらいます。シャクヤクの葉も活かしましょう。
- ③ アクセントにエンシクリア(ラン)をあしらいます。最後にアジアンタムの葉をふわっと添えればできあがり！

甘やかに香る東洋の気品

その圧倒的な美しさで世界中の女性を虜にする花。英名はPeony(ピオニー)。最近では海外育成種やリバイバル品種の増加でバラエティも豊かに。シャクヤクは“草”でボタンは“木”ですが、双方を交配した透明感あふれるハイブリッド新品種も登場。新潟や長野など雪国での生産がさかん。花が出荷できるまでに4〜5年もの年月を要します。



使っている花 ■ シャクヤク(華燭の典)、エンシクリア、アジアンタム

使っている花 ■ アジサイ(アルペン
ローホットピンク)、アスパラspre
ゲリー、オンシジウム(ハルリ)

6月
June



アジサイ

花言葉 元気な女性／家族の結びつき

水を宿して輝く紫陽花
梅雨空に溶け合うニュアンスカラー

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 房状の花を優しく手で広げながら通気性をよくし、花がムレて傷まないようにしましょう。傷んで黒くなっている部分があれば取り除きます。
- 茎はできるだけ斜めにカットし、中の白い綿をナイフやハサミの先端で掻き出すように取り除くと、水揚げがぐっとよくなります。
- アジサイは小さな花(といっても実際は額です)をたくさん咲かせるために栄養が必要です。切り花栄養剤をぜひ活用しましょう！

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①器にやや多めに水を入れ、切り花栄養剤を適量加えます。
- ②アジサイは花のボリュームによって1〜2本使用します。水に浸かる部分の葉や多めの葉を取り除きます。茎は斜めにカットし、茎の中の白い綿を掻き出すように取り除きます(このひと手間がポイント!)
- ③器の口元にアジサイをふわっとのせるように生けます。スプレングリーを長めにあしらって涼しげな演出を。ラン(写真はオンシジウム)やクレマチスなど軽やかな花をプラスしても素敵です。

優しい雨を彩るアジサイ

古くは万葉集にも歌われ、日本人の心を癒してきた花。海外での育種や生産もさかんで、シックなアンティークカラーの輸入品も多く出回りますが、国産の季咲きのアジサイは雨に移ろう優しい色彩や水を宿したような瑞々しさが魅力です。最近コロンビアから染めのアジサイが輸入されるようになり、ユニークかつ美しいと話題を呼んでいます。



6月
June



クレマチス

花言葉

精神の美／旅人の喜び

凛々と咲く紫紺の花
しなやかな蔓で魅せる初夏の景色

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- しっかり水が上がっている、鮮度のよい花を選びましょう。
- カットした切り口の下から1cmほどをハサミの柄などで軽くたたき、細く硬い茎をほぐします。ひと手間かけて、水を吸いやすくしてあげましょう。
- 切り花栄養剤でさらに水の吸上げがよくなり、花持ちもぐんとアップ！小さなつぼみまで咲き、長く楽しめます。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ① 万が一クレマチスの水が下がってしまったら、花を壊さないように新聞紙にくるみ、足元をぎゅっとセロハンテープで留めて、上記のように茎の切り口を処理します。たっぷりの水に2～3時間浸ければシャキッと元気に！
- ② グリシアを短めにカットし、器の口元に生けます。この時、グリシアの花が下にうつむかないように気をつけて。
- ③ グリシアの茎を花留めにしながら、クレマチスをあしらっていきます。茎や葉の動きを観察しながら、美しいラインを生かして舞い咲くようにいけましょう。

涼感あふれる蔓性植物の女王

初夏のガーデンではバラのパートナープランツとして大人気のクレマチス、切り花の流通は6月が最旬です。様々な花形の品種が出回り、軽やかなシルエットがナチュラルなデザインにぴったり。花が咲き終わった後のシードにも表情があり楽しめます。中国や日本が原産の品種も多く、「鉄線」や「風車」といった和名も。



使っている花 ■ クレマチス(デュランディ)、ダリア(花夢)

使っている花 ■ リシアンサス(エグゼラベンダー、ポヤージュグリーン)、クレマチス(エトワーズローズ)

6月
June



リシアンサス(トルコギキョウ)

花言葉 | すがすがしい美しさ／希望

初夏のアジアンティストな花あしらい
暑さに強いリシアンサスを爽やかに

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 茎がしっかりしていて花の発色がよく、花の中を覗きこんで、花粉の汚れやカビの発生がないものを選びましょう。
- エチレンガスの影響を受けやすいので、果物や線香の煙などの近くに飾らないようにしましょう。
- 切り花栄養剤の効果大!つぼみもよく開花します。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① 高低差のある器を2点用意します。カゴの中には水を入れるための小さなグラスなどを仕込み、それぞれに水を入れ、切り花栄養剤を適量加えます。
- ② まず、リシアンサスは一輪ずつ小分けにカットします。花顔が横並びにならないよう凹凸をつけながら生けると、アレンジに立体感が出て素敵です。
- ③ 抜け感を出すようにクレマチスを軽やかにあしらいます。クレマチス・エトワールローズは小葉も美しいので、蔓のラインを活かしながら生けてみましょう。2つの器それぞれに同じ葉を入れることで、アレンジが繋がります。お盆などを敷いて器をまとめるとなおよいでしょう。

凛として清涼、世界に誇る夏花

世界に高く評価される、日本の育種力と栽培技術が融合した傑作。6〜7月に季咲きの最盛期を迎えます。日持ちのよい豪華なフリンジタイプが根強い人気ですが、可憐な小輪系や無花粉タイプなど品種も進化中。暑さに強く冷涼な色合いは夏の花飾りにぴったり! 旬の季節にぜひすばらしいリシアンサスに出合ってください。

